

JP2002318587

Publication Title:

MUSIC DISTRIBUTION SYSTEM AND MUSIC DATA RECEIVER

Abstract:

Abstract of JP2002318587

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a music distribution system and a music distributing method, by which a desired music is easily specified and downloaded even though a user has no knowledge on a music being broadcasted or being listened by the user. **SOLUTION:** Music related information to specify the music is included in music data being broadcasted. A music data receiver reproduces the received data, recognizes and stores the music related information. Then, the receiver is connected to a music distribution server based on the music related information in accordance with the instruction of the user to download the music data.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-318587
(P2002-318587A)

(43) 公開日 平成14年10月31日 (2002. 10. 31)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 1 0 K 15/02		G 1 0 K 15/02	
H 0 4 H 1/02		H 0 4 H 1/02	F

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-124342 (P2001-124342)

(22) 出願日 平成13年 4 月23日 (2001. 4. 23)

(71) 出願人 000003821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 明石 輝夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100062144

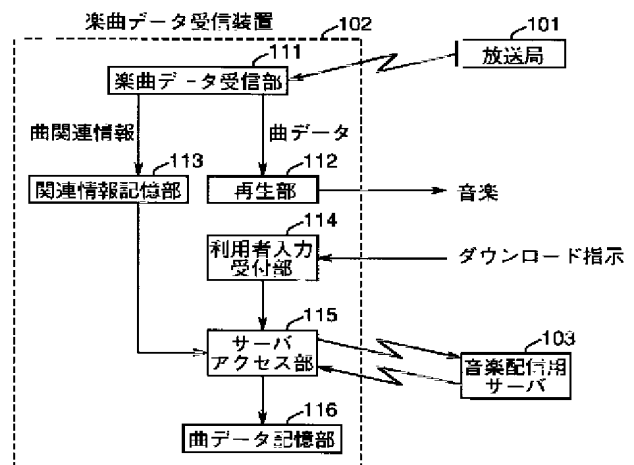
弁理士 青山 葆 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 音楽配信システムおよび音楽データ受信装置

(57) 【要約】

【課題】 放送されている、または利用者が聴いている楽曲について、利用者に楽曲に関する知識がなくても、容易に所望の楽曲を特定してダウンロードが可能な音楽配信システムないしは音楽配信方法を提供する。

【解決手段】 放送する楽曲データ中に楽曲を特定するための楽曲関連情報を含める。楽曲データ受信装置では受信した楽曲データを再生するとともに、楽曲関連情報を認識して記憶しておく。楽曲データ受信装置は利用者の指示に従って、楽曲関連情報を元に音楽配信サーバへ接続し、楽曲データをダウンロードする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部と、

前記曲関連情報を含んだ配信要求にしたがって、前記曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバと、

前記楽曲データを受信する受信部と、

前記受信部で受信された曲関連情報を含む配信要求を前記音楽配信サーバに送る一方、前記音楽配信サーバにより送出された前記曲関連情報に対応する曲データをダウンロードする曲データダウンロード部とを備えた音楽配信システム。

【請求項2】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部と、

前記曲関連情報を含んだ配信要求にしたがって、前記曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバと、

前記楽曲データを受信する受信部と、

前記受信部で受信された曲データを再生する再生部と、前記再生部で再生された曲データを聞いた利用者の指示により、前記曲関連情報を含む配信要求を前記音楽配信サーバに送る一方、前記音楽配信サーバにより送出された前記曲関連情報に対応する曲データをダウンロードする曲データダウンロード部とを備えた音楽配信システム。

【請求項3】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部を備えた音楽配信システム。

【請求項4】 曲データを一意に特定するための曲関連情報を含んだ配信要求により、前記曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバを備えた音楽配信システム。

【請求項5】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部と、

前記曲関連情報を含んだ配信要求にしたがって、前記曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバとを備えた音楽配信システム。

【請求項6】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信部と、

前記受信部で受信された曲データを再生する再生部と、前記受信部で受信された楽曲データ中の曲関連情報と必要に応じて曲データの全部または一部とを他の装置に出力する受信音楽出力部とを備えた音楽配信システム。

【請求項7】 曲データと、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信部と、

前記受信部で受信された曲データを再生する再生部と、利用者の指示により、前記曲関連情報を用いて該曲関連情報に対応する曲データをダウンロードする曲データダウンロード部とを備えた音楽配信システム。

【請求項8】 曲データの全部または一部と、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信された曲データを再生する再生手段と、

利用者の指示により、前記曲関連情報を用いて音楽配信サーバにアクセスし、前記曲データをダウンロードするダウンロード手段とを備えた音楽データ受信装置。

【請求項9】 曲データの全部または一部と、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信された曲データを再生する再生手段と、

前記曲関連情報または前記曲データの0以上の任意の割合部分を出力する出力手段とを備えた音楽データ受信装置。

【請求項10】 曲データの全部または一部と、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信された曲データを再生する再生手段と、

利用者の指示により、前記曲関連情報を用いて音楽配信サーバにアクセスし、前記曲データをダウンロードするダウンロード手段と、

前記曲関連情報または前記曲データの全部もしくは一部を出力する出力手段とを備えた音楽データ受信装置。

【請求項11】 曲データの0以上の任意の割合部分と、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、

利用者の指示により、前記曲関連情報を用いて音楽配信サーバにアクセスし、前記曲データをダウンロードするダウンロード手段とを備えた音楽データ受信装置。

【請求項12】 曲データの0以上の任意の割合部分と、前記曲データを一意に特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、

前記曲関連情報または前記曲データの0以上の任意の割合部分を出力する出力手段とを備えた音楽データ受信装置。

【請求項13】 曲データを入力し、前記曲データを一意に特定する曲関連情報を付加する曲関連情報付加装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタル化された楽曲データを利用者の元へ有料で配信する音楽配信システムと、該音楽配信システムに用いられる音楽データ受

信装置および曲関連情報付加装置とに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、デジタル技術の発達により音楽はデジタルデータとして管理されるようになり、またネットワーク技術の発達に伴って、音楽の配布形態も、従来のパッケージメディアを用いたものとは別に、ネットワークを介して利用者に配布可能なものを用いる環境が整ってきている。

【0003】このようなネットワークを用いた音楽配信では、利用者が音楽配信用のサーバにアクセスし、楽曲を特定するためにタイトルを入力したり、歌手の名前などの情報を用いて必要な楽曲を検索し、サーバが提示した楽曲が利用者の希望と一致するものであることを確認した後、ダウンロードを開始するという手順を踏む。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかる従来の方法では、楽曲を特定するためには、利用者は楽曲に関する何らかの情報を持っていなければならない。これは、例えば、放送を視聴している際に聞こえてきた曲を利用者が入手したいと思っても、その楽曲に関する知識がなければ即座に入手することは不可能であるといった問題点を有する。

【0005】本発明は、上記従来の問題点を解決するためになされたものであって、その目的は、楽曲に関する知識のない利用者でも、聞いている曲の楽曲データを容易にダウンロードすることができる音楽配信手段を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、楽曲データにあらかじめ楽曲を特定することが可能な関連情報を組み込んでおき、受信装置で自動的に関連情報を認識して音楽配信サーバと通信することにより、楽曲データをダウンロードできるようにしたものである。すなわち、本発明の1つの構成においては、放送する楽曲データの中に、楽曲を特定するための楽曲関連情報を含ませておく。他方、楽曲データ受信装置では、受信した楽曲データを再生するとともに、楽曲関連情報を認識して記憶しておく。楽曲データ受信装置は、利用者の指示により、楽曲関連情報に基づいて音楽配信サーバにアクセス（接続）し、楽曲データをダウンロードする。このような構成により、利用者は楽曲に関する知識がなくても、受信している楽曲を音楽配信サーバよりダウンロードすることが可能となる。

【0007】また、本発明の別の構成においては、放送された楽曲データを受信、再生するとともに、受信した第1の楽曲関連情報をさらに第2の楽曲関連情報として発信する手段を設ける。利用者は、第2の楽曲関連情報を受信して放送されている楽曲を特定できるため、この情報を利用して音楽配信サーバにアクセス（接続）し、楽曲データをダウンロードする。この構成によれば、利

用者の保有する受信装置以外から視聴した楽曲に関して、楽曲に関する知識がなくても聴こえてきた楽曲を容易にダウンロードすることが可能となる。

【0008】より具体的には、本発明の第1の態様にかかる音楽配信システムは、(i) 曲データと、曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部と、(ii) 曲関連情報を含んだ配信要求にしたがって、曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバと、(iii) 楽曲データを受信する受信部と、(iv) 受信部で受信された曲関連情報を含む配信要求を音楽配信サーバに送る一方、音楽配信サーバにより送られた曲関連情報に対応する曲データをダウンロードする曲データダウンロード部とを備えていることを特徴とするものである。この音楽配信システムにおいては、(i) 受信部で受信された曲データを再生する再生部が設けられ、(ii) 上記曲データダウンロード部が、再生部で再生された曲データを聞いた利用者の指示により、曲関連情報を含む配信要求を音楽配信サーバに送る一方、音楽配信サーバにより送られた前記曲関連情報に対応する曲データをダウンロードするようになっていてもよい。

【0009】本発明の第2の態様にかかる音楽配信システムは、曲データと、該曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを送信する送信部を備えていることを特徴とするものである。この音楽配信システムにおいては、上記送信部に代えて、またはこれに加えて、曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報を含んだ配信要求により、曲関連情報に対応する曲データを送出する音楽配信サーバが設けられていてもよい。

【0010】本発明の第3の態様にかかる音楽配信システムは、(i) 曲データと、該曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信部と、(ii) 受信部で受信された曲データを再生する再生部と、(iii) 受信部で受信された楽曲データ中の曲関連情報と（必要に応じて）曲データの全部または一部とを他の装置に出力する受信音楽出力部とを備えていることを特徴とするものである。この音楽配信システムにおいては、上記受信音楽出力部に代えて、利用者の指示により、曲関連情報を用いて該曲関連情報に対応する曲データをダウンロードする曲データダウンロード部が設けられていてもよい。

【0011】本発明の第4の態様にかかる音楽データ受信装置は、(i) 曲データの全部または一部と、該曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、(ii) 受信手段で受信された曲データを再生する再生手段と、(iii) 利用者の指示により、曲関連情報を用いて音楽配信サーバにアクセスし、曲データをダウンロードするダウンロード手段とを備えていることを特徴と

するものである。この音楽データ受信装置においては、上記ダウンロード手段に代えて、曲関連情報または曲データの任意の部分（なしの場合を含む）を出力する出力手段が設けられていてもよい。また、この音楽データ受信装置においては、曲関連情報または曲データの全部もしくは一部を出力する出力手段が設けられていてもよい。

【0012】本発明の第5の態様にかかる音楽データ受信装置は、(i) 曲データの任意の部分（なしの場合を含む）と、曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定するための曲関連情報とを含んだ楽曲データを受信する受信手段と、(ii) 利用者の指示により、曲関連情報を用いて音楽配信用サーバにアクセスし、曲データをダウンロードするダウンロード手段とを備えていることを特徴とするものである。この音楽データ受信装置においては、上記ダウンロード手段に代えて、曲関連情報または曲データの任意の部分（なしの場合を含む）を出力する出力手段が設けられていてもよい。

【0013】本発明の第6の態様にかかる曲関連情報付加装置は、曲データを入力し、該曲データを一意に（ないしは、一義的に）特定する曲関連情報を付加することとを特徴とするものである。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面を参照しながら説明する。なお、複数の実施の形態に共通する構成要素には、同一の参照番号が付されている。

【0015】（実施の形態1）図1は、本発明の実施の形態1における音楽配信システム（ないしは、音楽配信方法）の構成を示す図である。図1において、101は曲情報と曲関連情報とからなる楽曲データを放送する放送局であり、102はこの楽曲データを受信する楽曲データ受信装置であり、103は音楽配信用サーバである。楽曲データ受信装置102はさらに、各部111～116で構成される。111は楽曲データ受信部であり、放送局101から放送された楽曲データを受信する。112は再生部であり、楽曲データから曲情報を取り出して音楽として再生する。

【0016】113は関連情報記憶部であり、楽曲データから曲関連情報を取り出して記憶する。114は利用者入力受付部であり、利用者から再生中の曲についてのダウンロードの指示を受け付ける。115はサーバアクセス部であり、利用者入力受付部からのダウンロード指示に従って、音楽配信用サーバ103と通信して関連情報記憶部113に記憶されている曲関連情報によって特定される楽曲をダウンロードする。116は曲データ記憶部であり、サーバアクセス部115によりダウンロードされた曲データを記憶する。

【0017】図2は、放送局101から放送される楽曲データの構成の一例を示している。図2に示すように、

この楽曲データは、ヘッダ201と、曲関連情報202と、曲データ203とで構成される。曲関連情報202には、リスト204で示されるように、楽曲を音楽配信用サーバ103で一意に特定するための曲IDと、曲のタイトルや歌手などといった付随的な情報とが含まれる。

【0018】以下、図1を参照しながら、実施の形態1における音楽配信方法の各ステップを説明する。まず、楽曲データ受信装置102は、放送局101より放送されている楽曲データを、楽曲データ受信部111にて受信し、再生部112により再生すると同時に、楽曲についての関連情報を関連情報記憶部113に記憶する。

【0019】利用者は再生された音楽を聴いており、気に入った曲であれば利用者入力受付部114へダウンロード指示を出す。これは楽曲データ受信装置102に設けられたボタンを押すなどといった操作で実現することができる。ダウンロード指示はサーバアクセス部115へ伝達される。サーバアクセス部115は、音楽配信用サーバ103へアクセスし、ダウンロードする曲を特定するための情報を関連情報記憶部113より取り出して、音楽配信用サーバ103に通知する。音楽配信用サーバ側では、利用者の確認や課金処理などを行った後、指定された曲データを送信する。なお、サーバアクセス部115と音楽配信用サーバ103との通信における、音楽データの著作権保護を考慮した音楽配信方法は、特開2000-90039号公報「音楽配信方法、送信装置および方法、ならびに、再生装置および方法」に詳しく記載されている。サーバアクセス部115は曲データを受け取り曲データ記憶部116に記憶させる。記憶された曲データは利用者の指示に応じて再生部112で再生することができる。

【0020】以上のように実施の形態1によれば、利用者に聴いている楽曲に関する知識がなくとも、楽曲データ受信装置102の簡単な操作で、曲をダウンロードし、入手することが可能である。なお、曲データ記憶部116は内部メモリであっても、外部記憶装置であっても構わない。また、音楽配信用サーバ103へアクセスするステップを別の装置を用いて行うことも可能であり、図3にその構成の一例を示す。図3に示すように、この例では、楽曲データ受信部302において、関連情報出力部311は、利用者より受け付けたダウンロード指示により、関連情報記憶部113より曲関連情報を読み出して外部記憶装置321へ出力する。

【0021】外部記憶装置321としては、例えばメモリカードのようなものが考えられる。これをサーバアクセス装置303に接続し、関連情報読取部331により曲関連情報を読み込み、サーバアクセス部332が、音楽配信用サーバ103へアクセスする。サーバアクセス部332は曲データを受け取り曲データ記憶部333に記憶させる。記憶された曲データは利用者の指示に応じて

再生部112で再生することができる。サーバアクセス装置303としては、例えばパーソナルコンピュータなどが考えられる。これにより楽曲データ受信装置302の構成を簡易にし、装置のコストを削減することが可能である。

【0022】(実施の形態2)図4は、本発明の実施の形態2における音楽配信システム(ないしは、音楽配信方法)の構成を示す図である。図4において、401は楽曲データ受発信装置であり、放送局101より放送された楽曲データを受信して音楽として再生すると同時に、再生中の曲についての関連情報を発信する。402は楽曲データ受信装置であり、楽曲データ受発信装置401から発信された楽曲に関する関連情報を受信して、利用者の指示により音楽配信用サーバ103へアクセスし、曲データをダウンロードする。

【0023】楽曲データ受発信装置401は、さらに各部411~414で構成される。411は楽曲データ受信部であり、放送局101から放送された楽曲データを受信する。412は再生部であり、曲情報と曲関連情報からなる楽曲データから曲情報を取り出して音楽として再生する。413は関連情報記憶部であり、楽曲データから曲関連情報を取り出して記憶する。414は関連情報発信部であり、楽曲を再生している間、関連情報記憶部413に記憶されている楽曲の関連情報を繰返し発信する。

【0024】楽曲データ受信装置402は、さらに各部421~426により構成される。421は関連情報受信部であり、楽曲データ受発信装置401が発信している関連情報を受信する。423は関連情報記憶部であり、関連情報受信部421で受信した関連情報を記憶する。422は表示部であり、関連情報の内容の全部または一部を表示する。424は利用者入力受付部であり、利用者から表示中の曲についてのダウンロードの指示を受け付ける。425はサーバアクセス部であり、利用者入力受付部424からのダウンロード指示にしたがって、音楽配信用サーバ103と交信して関連情報記憶部423に記憶されている関連情報で特定される楽曲をダウンロードする。426は曲データ記憶部であり、サーバアクセス部425によりダウンロードされた曲データを記憶する。

【0025】以下、図4を参照しながら、実施の形態2における音楽配信方法の各ステップを説明する。まず、楽曲データ受発信装置401は放送局101より放送されている楽曲データを楽曲データ受信部411にて受信し、再生部412により再生すると同時に、楽曲についての関連情報(曲関連情報)を関連情報記憶部413に記憶する。さらに、関連情報発信部414は、関連情報記憶部413に記憶されている関連情報を繰返し外部へ発信している。利用者は、楽曲データ受信装置402を用いて関連情報を受信し、この関連情報を関連情報記憶

部423に記憶する。

【0026】受信した内容は、表示部422を参照することにより確認することができる。気に入った曲であれば、利用者入力受付部424へダウンロード指示を出し、これはサーバアクセス部425へ伝達される。サーバアクセス部425は音楽配信用サーバ103へアクセスし、ダウンロードする曲を特定するための情報を関連情報記憶部423より取り出して、音楽配信用サーバ103へ通知する。音楽配信サーバ側では、利用者の確認や課金処理などを行った後、指定された曲データを送信する。サーバアクセス部425は、曲データを受け取り、曲データ記憶部426に記憶させる。

【0027】楽曲データ受発信装置401は、例えば店舗などに設置される。店舗では音楽を再生すると同時に関連情報を発信している。楽曲データ受信装置402は店舗に来店する客が保有している。客は店舗内に流れる音楽を気に入れば、店舗側が発信する関連情報を受信して曲をダウンロードすることが可能である。

【0028】以上のように、実施の形態2によれば、音楽を受信し再生する装置が自己の所有するものでない場合でも、気に入った曲に関する知識なしに、容易に曲データのダウンロードが可能となる。なお、曲データ記憶部426は、内部メモリであっても外部記憶装置であっても構わないこととし、楽曲データ受信装置402に再生部を設けて、記憶した曲データを再生できるように構成することも可能である。

【0029】また、実施の形態1で示したのと同様に、サーバアクセス部425と曲データ記憶部426とを楽曲データ受信装置402から分離する構成としてもよい。さらに、関連情報発信部414が発信する楽曲の関連情報に、曲データの一部を含むようにし、楽曲データ受信装置402の表示部422に、曲データの一部を再生する機能を持たせるといった構成が考えられる。これは、楽曲データ受発信装置401で音楽の再生が終了しても、楽曲データ受信装置402の関連情報記憶部423では関連情報を保持しておき、後にダウンロード指示を行う場合に、利用者が曲を確認するのに役立つ。すなわち、利用者は外出先でいくつかの曲に関する情報を関連情報記憶部423へ記憶させ、帰宅した後に再生機能を持つ表示部422によって曲の一部を再生し、確認しながらダウンロードの要否を判断することが可能となる。

【0030】(実施の形態3)図5は、本発明の実施の形態3における音楽配信システム(ないしは、音楽配信方法)の構成を示す図である。図5において、501は楽曲の再生装置であり、音楽ソースが放送されたものであるかパッケージメディアであるかを問わず、音楽を再生する既存のあらゆる装置を含む。502は関連情報発信装置であり、楽曲の再生に関連して、楽曲の関連情報を繰返し発信する。楽曲データ受信装置402は、実施

の形態２で説明したものと同一の仕様である。

【００３１】図５は、例えば映画館などで映画と同時に再生される音楽に関する情報を館内に発信しておき、観客が気に入った音楽を容易にダウンロードすることができるようにするものである。以上のように、実施の形態３によれば、楽曲の販売を促進したい販売者が、意図的に音楽の再生と同時に関連情報を発信し、利用者に容易にダウンロードしてもらうように促すことが可能である。

【００３２】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、放送する楽曲データ中に楽曲の関連情報を含むようにし受信装置にて関連情報を分離して記憶することにより、利用者が楽曲に関する知識がなくとも、容易に音楽配信サーバにアクセスして所望の曲データをダウンロードすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図１】 本発明の実施の形態１における音楽配信システムの構成を示すブロック図である。

【図２】 本発明の各実施の形態において、放送局から放送される楽曲データの内容を示す図である。

【図３】 本発明の実施の形態１における音楽配信シ

テムの別の構成を示すブロック図である。

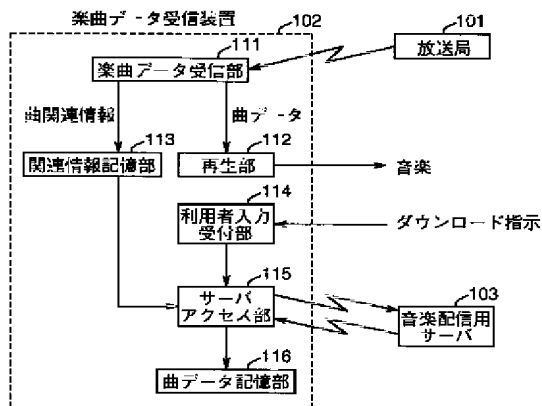
【図４】 本発明の実施の形態２における音楽配信システムの構成を示すブロック図である。

【図５】 本発明の実施の形態３における音楽配信システムの構成を示すブロック図である。

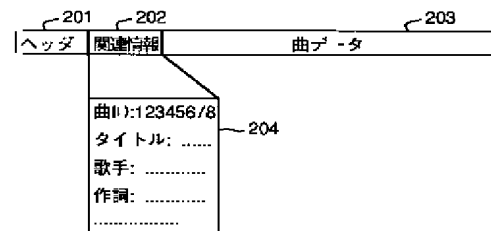
【符号の説明】

１０１…放送局、１０２…楽曲データ受信装置、１０３…音楽配信サーバ、１１１…楽曲データ受信部、１１２…再生部、１１３…関連情報記憶部、１１４…利用者入力受付部、１１５…サーバアクセス部、１１６…曲データ記憶部、２０１…ヘッダ、２０２…関連情報、２０３…曲データ、２０４…リスト、３０２…楽曲データ受信装置、３０３…サーバアクセス装置、３１１…関連情報出力部、３２１…外部記憶装置、３３１…関連情報読取部、３３２…サーバアクセス部、３３３…曲データ記憶部、４０１…楽曲データ受信装置、４０２…楽曲データ受信装置、４１１…楽曲データ受信部、４１２…再生部、４１３…関連情報記憶部、４１４…関連情報発信部、４２１…関連情報受信部、４２２…表示部、４２３…関連情報記憶部、４２４…利用者入力受付部、４２５…サーバアクセス部、４２６…曲データ記憶部、５０１…再生装置、５０２…関連情報発信装置。

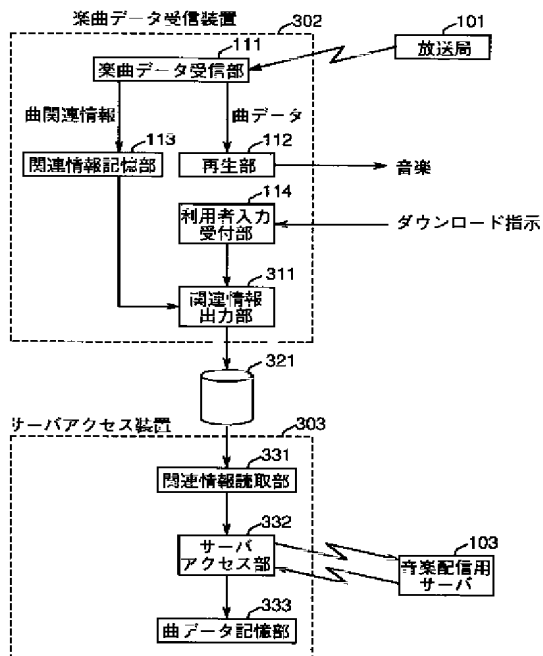
【図１】



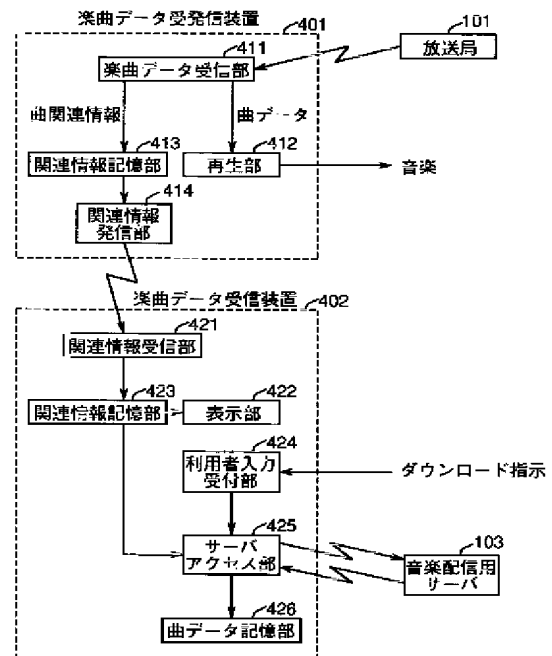
【図２】



【図3】



【図4】



【図5】

